

農学研究科の教育目標及びディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについて

【教育目標】

山形大学大学院の教育目標を踏まえ、農学研究科では、豊かな人間力、食料・生命・環境科学に関わる幅広い知識や深い専門性を身につけ、国際社会や地域社会の課題解決のために創造力を豊かに発揮できる人材の養成を目標としています。

【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

山形大学大学院の修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）のもと、農学研究科では、以下のような知識と能力を獲得した学生に「修士（農学）」の学位を授与します。

1 豊かな人間力

- (1) 食料・生命・環境科学に強い関心を持ち、主体的・自律的に学習を継続できる。
- (2) 専門職従事者としての倫理観と責任感を持ち、コンプライアンス遵守の精神を身につけている。

2 深化した専門的知識・技能と文理兼修による幅広い視野

- (1) 各自の専門分野における高度な知識や技術を身につけている。
- (2) 文理を超えた様々な分野の専門的知識を理解し、多様化・複雑化した社会の要請に応じてそれを活用できる能力を有している。

3 多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力

- (1) 国際社会や地域社会における専門分野に関わる課題を抽出・探求でき、その解決のために研究・開発する行動力を有している。
- (2) 他分野との共同作業ができ、創造的な事業に従事するための実践的な能力を有している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

山形大学大学院の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に沿って、農学研究科では、学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1 教育課程の編成・実施等

- (1) 高度な専門職従事者としての知識と技能を身につけるため、体系的に構成されたカリキュラムを編成する。
- (2) 多様で学際的な知識と技能を身につけるため、文理兼修を含む幅広い分野の科目を履修できるカリキュラムを編成する。

2 教育方法

- (1) 自ら課題を発見し、その解決に向けて探求した成果を表現する能力を身につけさせるため、授業への学生の主体的な参加を促す。
- (2) 他分野の学生との共同作業や討論会を推進する。
- (3) 修士論文研究では、複数教員による対面型個別指導制を導入し、研究の内容・結果・解析法等を確認・指導する。

3 教育評価

- (1) 不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定した上で、その基準にもとづく評価を行う。
- (2) 修士（農学）の学位基準にもとづき、学位論文を評価する。